

共利群生の もりをめざして

就任の御挨拶

平素より、当冊子をお手にとって頂ける皆さまには、高野山の護持発展に多大なるご支援・ご協力を頂きまして、厚く御礼申し上げます。

この度、令和3年7月より新たに山林部長に就任いたしまして、祖山の山林管理を担当することとなりました。これまで同様、皆様方のご厚志を給わりますよう、お願い申し上げます。

さて、お大師さまは高野山を開創されるにあたり、「深山の平地、尤も修禪に宜し」(『性靈集』九)と述べられ、幽寂な山林とそれらに囲まれた平地を、密教修行の最適な条件として挙げておられます。

高野の地を囲む峯々は〈八葉の峯〉と称され、高野山にとりましてそれら山林の管理は、高野山開創の意義にも関わる大変重要な使命であります。

また毎年のように起こる異常気象を考えてみましても、山林を守ることが、地球の環境を守ることにもつながります。微力ではございますが、お大師さまから与えられた責務を果たすべく、山林部も活動してまいります。

なにとぞ山林事業に対する皆さまからのご理解とご協力をお願い申し上げます。

山林部長 津田哲哉

宗祖弘法大師御誕生1250年記念大法会

令和5年5月14日～7月9日

いのちよ輝け—大師のみこころと共に—

新型コロナウイルス感染症の被害に遭われた皆様に心よりお見舞い申し上げますとともに、高野山から一日も早いご快復を心よりお祈り申し上げます。

2021
第19号
秋

共利群生のもりをめざして 2021 第19号



共利群生のもりをめざして 2021 第19号

- 一口(一〇〇〇円)
- 五色腕輪念珠一連

- 五口(一〇〇〇円)
- 高野靈木カレンダー

- 一本か、五色腕輪念珠
五連どちらかを選択
していただけます。

献木一口一〇〇〇円
【記念品のご案内】

《献木について》
高野山真言宗管長
総本山金剛峯寺第四百十四世座主
葛西光義大僧正貌下御染筆



お問い合わせ

〒648-0211 和歌山県伊都郡高野町高野山132 金剛峯寺 山林部
TEL.0736-56-2016(直) FAX.0736-56-4640
E-mail sanrinka@koyasan.or.jp
※次号から会報の送付を停止する場合は、お手数ですがご一報下さい。

『献木』お振込先

振替用紙をご送付致しますので、山林部までご連絡下さい。
郵便振替口座:大阪 00930-6-61758
ゆうちょ銀行:〇九九支店 当0061758
加入者名:宗教法人 金剛峯寺山林部

高野町は町面積の約95%を山林が占めています。1200年にわたり護られてきた高野山の山林は豊かな自然環境と特有の希少な動植物を有し、様々な表情を楽しむことができます。

高野山寺領森林組合ではこの度 YouTube チャンネルを開設いたしました。美しい自然が織りなす風景や音色を目で見て聞いて森を感じてみてください。



ホームページにて
森林セラピーのお申し込み、
オンラインショップ
『高野の森の香りハンドクリーム』
好評発売中!!



HP

高野山寺領森林組合 TEL:0736-56-2828

—通信欄—

皆様から頂きました献木志納金は祖山環境の維持のため、大切に使わせていただいております。

献木の受付は金剛峯寺ホームページからも行えますので、是非ご覧下さい。

コロナウイルスにより激変した生活はまだ戻りませんが、ワクチン接種の広がりなど希望も見えて参りました。早く皆様に元の日常が戻ることを高野山よりお祈り申し上げます。

この会報は春と秋の年2回、献木にご協力頂いた方にお届けしております。

表紙写真:Photographs 垂井 俊憲

献木受付はこちらから
ご覧頂けます。



会報バックナンバーは、
こちらからご覧頂けます。



この会報は環境と資源を
守る植物油インキを使用
しています。

参 与 会

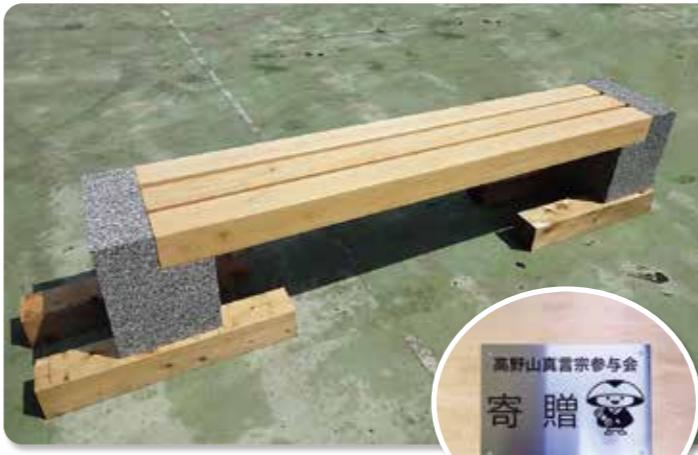
高野山各所にあるベンチをこの度参与会ご協力により新しく作製することとなりました。

金剛峯寺が管理する高野山内のベンチを調査し、劣化の程度、場所、形状などを確認して優先順位を付けて、順次新しくして行きました。

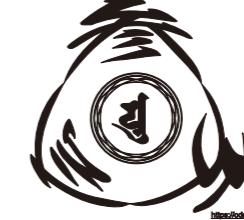
新しいベンチは足の部分を石、座部分を高野靈木を使用して作成し、今年度は、金剛峯寺と伽藍の境内へ、計8台を設置いたします。

新しいベンチでお参りに来られる皆様が清々しい気持ちでゆく

りお過ごし頂ける事を願います。



参与会では活動報告などの様子をfacebookやinstagramに投稿しています。こちらもぜひご覧ください。



祝 日本農業遺産に認定

この度「聖地高野山と有田川上流地域を結ぶ持続的農林業システム」が日本農業遺産に認定されました。

農業遺産とは何世代にもわたり継承されてきた独自性のある伝統的な農林水産業と、それに関わって育まれた文化、ランドスケープや農業生物多様性などが相互に関連して一体となつた、世界的に重要な伝統的農林水産業を営む地域を認定する制度です。

高野山は「高野六木制度」や金剛峯寺山林部・山林経営委員会・高野山寺領森林組合が連携した独自の林業体制などを評価頂きました。

「高野六木制度」は、寺院の用材となる木材（スギ・ヒノキ・コウヤマキ・アカマツ・モミ・ツガ）を建築修繕以外で伐採することを禁止した制度です。これにより火災が多かった高野山の寺院用材の永続的な自給を可能にしました。

※詳しくは高野町のホームページをご覧下さい。

こうやりくほく 高野六木



高野町のHPは
こちらから



献木植樹祭

／参与会会长長就任記念植樹も／

総本山金剛峯寺山林部では高野山靈宝館において令和3年度献木植樹祭を4月16日に執り行いました。

添田隆昭宗務総長挨拶のあと、築野富美高野山真言宗参与会会长と、宇賀浩生兵庫支所淨徳寺住職に感謝状と記念品が授与されました。今年は築野会長の参与会会長就任記念植樹が行なわれ、その後、金剛峯寺役員、献木志納者らにより靈宝館敷地内西側へ合計21本の石楠花が植樹されました。

高野山銘木の跡をたずねる

クロモジ・シロモジ

高野山には、クスノキ科のクロモジ・シロモジの植物があります。クロモジは、主に爪楊枝として使用されていますが、精油が多く含まれている事により、高野山では、大晦日に使用する松明の材料としても、使われています。



シロモジ



第24回「極楽の森をよみがえらせよう！」

極楽橋森林整備プロジェクト実行委員会

高野山の入り口に位置する南海極楽橋駅において、「極楽の森をよみがえらせよう！」と題した森林整備イベントを開催し、ボランティア等計25名にご参加いただきました。この活動は今回24回目となり、モミジの植樹や下草刈りなど森林整備活動、ゴミ拾いなどの清掃活動、自然観察会や木工教室の開催を通じた普及活動など、これまで総勢700人を越えるボランティアにご参加いただきました。

これらの活動により、国民参加の森林づくりに対する意識が醸成されるとともに、景観も改善され、文化財ばかりではなく自然も良好な状態に維持するものとの考えがあることは特筆に値するとのことから、この度林野庁より「国民の森づくり推進功労者」として表彰していただきました。

